

重症化予防（国保・後期広域）ワーキンググループ（第1回）	
平成27年11月9日（月）	資料6

神奈川県広域連合資料

重症化予防等の取組事例（大和市の事例）

神奈川県後期高齢者医療広域連合

神奈川県大和市では、「糖尿病性腎症の透析予防活動」及び「低栄養改善活動」の取組を実施。

【神奈川県大和市の概要】

神奈川県の33市町村のうち、大和市は、県域のほぼ中央に位置し面積は約27平方キロメートルと小さな市であり、東京へ1時間弱、横浜へは20分で行くことが出来る。

○人口及び後期高齢者医療被保険者数

神奈川県：人口 9,118,562 人 被保険者 942,306 人 (10.33%)

大和市：人口 233,280 人 被保険者 21,507 人 (9.21%)

※人口：H27.9.1 現在 神奈川県人口統計調査結果、被保険者数：H27.8 月末現在

○後期高齢者医療1人当たり医療費及び医療費総合計 ※医療費は26年度

神奈川県：1人当たり医療費 865,163 円 医療費総合計 約7,824 億円

大和市：1人当たり医療費 808,853 円 医療費総合計 約164 億円

○後期高齢者医療制度の健康診査の受診率 ※26年度

神奈川県：受診率 24.67%

大和市：受診率 44.74%

1 事業の背景、経緯

① 糖尿病性腎症の透析予防活動

大和市の国民健康保険の疾病別医療費は3年連続腎不全が1位であり、総額の8.4%を占める。（平成25年度）。なかでも人工透析者は、19年から26年の7年間で約1.5倍に増加し、平成25年度の新規透析導入数は61人であった。

② 低栄養改善活動

高齢者は食事量低下や生活環境の変化により低栄養状態やフレイルになりやすい。高齢者の自立した生活を確保するため、栄養状態の改善を図る必要がある。

2 事業目的

① 糖尿病性腎症の透析予防活動

・腎機能の低下が認められた糖尿病性腎症の市民について、病態の安定と透析の導入予防を図る。

② 低栄養改善活動

・低栄養状態の改善及び重症化予防を進め、医療費の適正化を図る。

3 実施内容

① 糖尿病性腎症の透析予防活動

- ・対象者：後期高齢者医療の健診及び大和市国民健康保険特定健診受診者のうち、
主に慢性腎不全 Stage3～4 該当者（約 7 割が後期高齢）を対象（約 100～200 名）
 - ・ HbA1c6.5%以上、空腹時血糖 126 mg/dl 以上、eGFR**60ml**/分/1.73 m²以下として抽出。
- ・実施方法：管理栄養士による訪問（初回、3 ヶ月後、6 ヶ月後の 3 回実施）

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| ◆初回 | 健診項目、病歴、体重、食事摂取量、栄養指導の受講の有無、服薬状況等聞き取り |
| ◆3 ヶ月後 | 状況の確認 |
| ◆6 ヶ月後 | 目標の達成確認、HbA1c、eGFR の変化確認 |

② 低栄養改善活動

- ・対象者：BMI18.5 未満かつ 2～3kg の減少/6 ヶ月約 400 名を抽出し、可能であれば全件訪問。
- ・実施方法：管理栄養士による訪問（初回、3 ヶ月後、6 ヶ月後の 3 回実施）

- | | |
|--------|---|
| ◆初回 | BMI、体重が減少した理由、買い物の不自由の有無、食事摂取量、健康観の聞き取り、
疾病に応じた栄養相談、配食や食材宅配、代替食の紹介 等 |
| ◆3 ヶ月後 | 状況確認 |
| ◆6 ヶ月後 | 目標達成と体重、食事摂取量の変化確認 |

- 訪問する管理栄養士については、市職員の管理栄養士と神奈川県栄養士会への委託により実施。

【参考 大和市：鶴間地区（パイロット地区）の成果】

① 糖尿病性腎症の透析予防活動の対象者 78 名中 46 名（60.0%）を訪問 [平成 26 年度の実施]

◆ 栄養評価：HbA1c0.5%以上の改善者 47.8% → 未指導者の 4 倍以上

eGFR の Stage 改善者 82.6% → 未指導者の 1.5 倍以上

◆ 医療費削減評価：Stage 5 の 3 名については、透析導入が防止され、年間医療費 650 万円×3 = 1,950 万円の効果

◆ その他：かかりつけ医との連携事例増加（主治医から治療方針の確認などを行い連携）

② 低栄養改善活動の対象者 58 名中 38 名（65.5%）を訪問 [平成 25・26 年度の実施]

◆ 体重変化（6 か月後評価）

1kg 以上の増加者及び体重維持は 28 名（84.1%）、1kg 以上の減少者は 4 名（10.5%）

◆ 生活変化：主食・主菜・副菜の回数増加、買い物回数増加、歯の治療開始等

◆ その他：食環境の把握：食料品店から 500m 以上離れている、比較的坂が多い、交通の利便が悪い地区は低栄養が重症化しやすい傾向にある。（コミュニティバスルートの変更を実施）